



林 声

2016

9 月号



福島製材（美作市）の福島徹さんは、岡山県北東部、中国山地の麓で地元産のヒノキを中心とした製材と原木・製品を国内及び海外に向けて販売するほか、林業機械の油圧ホースの交換などの修理サービスにも取り組んでいます。（福島製材 <http://www.fukushimalumber.com>）（詳細はP 2に記載）

目 次

岡山・森林列伝（福島徹さん）……………	2	林務の職場（備前県民局、津山市森林課）……	10
がんばる認定事業体（有限会社 寿園）……………	3	技能講習会、イベント情報……………	11
普及指導区の情報（東備支部）……………	4	林産物市況……………	12
普及指導区の情報（新見支部）……………	5		
ニューフェイスです（真庭森林組合市さん）…	6		
教えて先輩！（久米郡森林組合小嶋さん）……	7		
林研グループ交換研修大会・森の大使の紹介…	8		
研究だより（木材加工研究室）……………	9		

岡山県マスコット
（ももっち）



岡山・森林列伝

【勝英普及指導区】

勝英普及指導区内の美作市古町で1919年（大正8年）創業の福島製材副社長 福島徹さん（40歳）にお話を伺いました。



創業時の福島製材の様子

一 会社の概要

福島製材は従業員5人で、製材、木材販売、ヒノキの輸出、林業機械修理などを幅広く行っています。製材業は主として賃挽きをし、販売業ではフローリング材や化粧材を大阪・東京へ出荷するとともに、韓国やベトナムにヒノキ原木や家具材料を輸出しています。

二 家業を継いだ動機

動機は2つあります。1つ目は、2011年に起きた東日本大震災です。それまで東京の外資系のタバコメーカーに勤務していました。震災直後に銀座の交差点が人で一杯になり、前にも進めないような状況を目の当たりにしたとき、自分が生活するところではないと感じました。

2つ目は、東北で仕事関係や様々な方々が被災する中、何もできなかったこと。木材なら何か大きな貢献ができるのではないかと感じ、翌月には退職を決め、家業を継ぐ決意をしました。しかし、実際に美作市（旧大原町）で生活し、仕事してみると、手入れの行われていない山林が多く、獣害の被害も拡大するなど山林での生業が衰退していることに愕然としました。

三 営業・仕事の内容

原木の仕入、仕分け、運搬、加工、出荷と木材のことは何でもやりまします。大消費地である大阪へは、週1から2日、東京へは案件ベースで営業に出向いています。



韓国向けのヒノキ原木の積み込み

四 今後の取組・目標

ヒノキの評価が高い国に目標を定め、フォークスして輸出をしています。その国々に勝英エリアのヒノキやスギなどを、もっと多く出荷していきたいと考えています。現在、九州エリアからも海外にヒノキが多く出荷されているので、他との差別化を図り、どのようなブランド化が可能なかの追求していきたいです。

また、機械化が進むこの業界でコストをいかに減らしていくのかにチャレンジできればと考えており、その第一弾が林業機械の修理業務です。勝英地域には、修理業者が少ないため、自ら技術を身につけて取り組むこととしました。

特に、油圧ホースは現場まで出張して交換するサービスを行っています。これにより、機械の停止時間を削減することとなるため、木材の生産コストを低減して、少しでも山元に還元できればと期待し、取り組んでいます。

目標は、弊社のような小規模製材所が適正な利益を得られる商売として成り立っていくようにすることです。つまり、「伐って、使って植えて、育てる」林業サイクルの中にある「使う」部分の製材所で滞ることがないようにすることです。林業サイクルのどこかが滞ると森林の整備が進まず山林の荒廃、獣害の被害拡大につながってしまいます。

五 取材を終えて

福島製材はもうすぐ創業100年を迎えます。創業から積み上げてきた技術と、外資系企業で働いていた福島さんの知恵を合わせて、新しい風を吹かせてくれることでしょうか。普及指導区としても、福島旋風の助けになれるよう、情報提供を一層図っていききたいと思います。

（技師 石黒愛実）

特集

株式会社 寿園

【真庭普及指導区】

がんばる認定事業体

一 はじめに

真庭市でお茶の栽培・製造・販売と森林の作業請負・素材生産を手がける「有限会社 寿園」。真庭市若代の事務所にて代表取締役の梶岡泰士氏を訪ね、お話を伺いました。



梶岡社長（左端）と作業員の皆さん

二 有限会社寿園の概要

平成16年4月に会社を設立し、役員2名、事務系職員2名と作業員6名でお茶の製造及び加工販売と木材の素材購入及び育林、伐採、搬出、加工、販売と林業に関する

作業受託を行っています。

三 経緯と現状

大学を卒業後、家業を継ぐことになり、当初は自社の山林（30畝）の枝打ちを行っていましたが、冬期にお茶の仕事がないので、森林所有者から森林作業の受託を始めた。平成3年9月から素材生産を開始し、翌年からグラップルやフォワーダ等の林業機械を導入しています。さらに、平成20年からはハーベスタ、フォワーダ、スイングヤーダなどの高性能林業機械を導入し、作業の機械化と作業能力の向上を進めてきました。また、一班体制では、素材生産量に限界があるため、平成27年に、森林整備加速化・林業再生事業により、フォワーダとウインチ付きグラップルを導入して二班体制とし、当初1,500立方メートルだった素材生産量が、現在4,500立方メートルになり、チップを含めると5,000立方メートル以上に拡大しています。

四 人材育成について

作業員の中に、新規採用者が3名いますが、今年度は、緑の雇用

事業（トライアル雇用）に1名しか採用とならなかったため、残りの2名にはチェーンソーやバックホウの資格を取得してもらう計画です。集材方法については、全部伐り倒してから重なり合った木の集材を行うと、高度な技術を必要としますが、数本伐る毎にウインチで集材する方法で作業を行っています。この方法が結果的に効率よく安全に集材できます。

作業員には、伐採時や林業機械の取扱について、常日頃から声を掛け、安全管理に努めています。



搬出間伐作業

五 日々の業務で思っていること

最近では、従業員も増え、仕事も効率よく進むため、次から次へと仕事を取っていかなければならぬ状況になっています。全国でも有数の林業地である真庭市で仕事ができるのは、とても恵まれた環境にあると思っています。こうした状況の中、山主に少しでもお金が残ることを目標に、みんなが「植林をしてよかった」と思えるようにしたいと思っています。最近では「山はいらぬ」という人が多いですが、山主さんや山で働く人達が「えーなあ」と言える作業体系にしなければいけないと考えています。

六 終わりに

真庭普及指導区では、高性能林業機械の導入を進め、山主さんのために頑張っておられる寿園の益々のご活躍に期待し、今後も活動への支援を行っていききたいと思います。

（林業普及指導員 馬場宏治）

『森を見つめるバスツアー』
〔東備普及指導区〕

一 はじめに

平成28年7月20日に実施された、『親子で体感！森を見つめるバスツアー』を紹介します。

このイベントは、おかやま森づくり県民税を活用した「森を見つめる交流促進事業」に、赤磐子どもNPOセンターが取り組んだもので、当日は小学1～6年13人を含む24人が参加しました。

行程は、林業のサイクルを子どもたちが理解できるように、『植える↓育てる↓伐る↓使う』に沿って進められました。

二 植えて育てる

まず、山林用の苗木について学ぶため、豊並樹苗生産組合の長畑州三組合長からスギとヒノキのコンテナ苗木を見学しました。コンテナで育成する方法は、最先端技術だと聞いて感心し、少花粉スギは、花粉が普通のスギの千分の一だということを知り、とても驚いた様子でした。そして植林地を見学して、植えた苗木を大きく育てるまでには、多くの人の手が必要だということ学びました。



コンテナ苗木はハイテク！

三 伐る

次に、農林水産総合センター林業普及推進班の協力で、美咲町にある研修地の森林内において、チェーンソーと高性能林業機械（ハーベスタ）によるヒノキの伐倒を見学しました。ハーベスタによる伐倒・玉切りの実演では、「まるでロボット！」と子どもたちは興味津々。その後、子どもたちからの熱い要望により、ハーベスタへの搭乗も叶い、順番の列に何度も並ぶ子どもいたほどでした。

森林の中で昼食後、今度は子どもたちもチェーンソーで丸太を切ってみました。大人用のチャップスを肩掛けで着用し、サポートを受けながら、生き生きとした、また真剣な表情で体験していました。

ハーベスタはロボット かっていい！



将来はフォレスター!?



四 使う

最後に、赤磐市周囲の清水製材所へ行き、丸太の皮むきから板材・角材に製材されるまでを見学しました。子どもたちは、大きな丸太が機械で自動的に製材されていく様子を熱心に見入り、できあがったばかりの板材に触ったり香りを嗅いだりしていました。

たばかりの板材に触ったり香りを嗅いだりしていました。



木の香りはいいにおい～

五 おわりに

普及指導区として、企画の提案から安全面の下見、当日の説明までを支援しました。

「木はいいにおい」「森をつくる人たちがかっこよかった」という感想もあり、参加した子どもたちが森林・林業に興味を持ち、木材を好きになってくれること、そしてこの中から林業技術者が誕生することを願いながら楽しんだ一日でした。

（林業普及指導員 谷 智仁）

『新見市自伐型
林業支援について』
〔新見普及指導区〕

一 はじめに

新見普及指導区の人工林の面積は、約33千畝あり、森林組合・事業体等により年間約900畝の除間伐が実施されています。しかし、木材価格の低迷、森林所有者の高齢化等により経営意欲が減退し、間伐等の森林整備が十分に行われず放置されている森林も多くあることから、地域でどのように森林整備を推進していくかが課題となっていました。

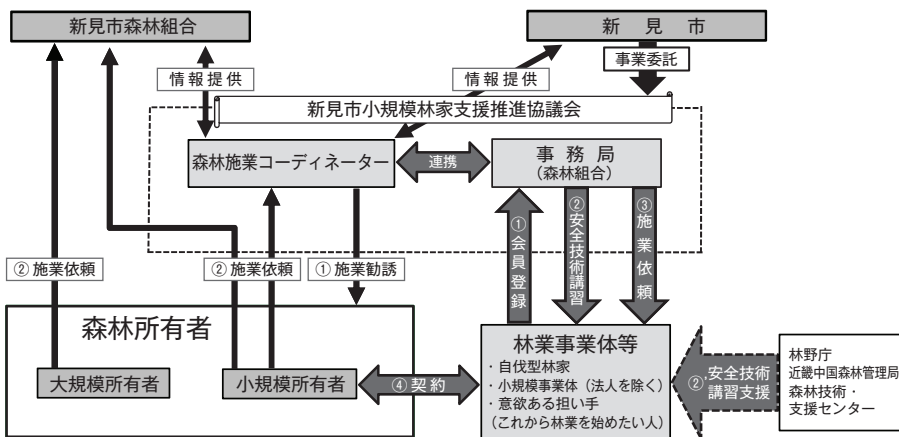
こうした中、新見市では、豊富な森林資源を活用した森林・林業の活性化を図るため、本年度から運用をしている「新見市自伐型林業支援事業」を紹介します。

二 概要

本事業の実施に当たっては、平成26年3月に発足した「新見市小規模林家支援推進協議会」（会長福田満寿二）へ市から委託されて進めています。

十分に管理されていない森林の整備を進めるため、森林施業コーディネーターを市役所内に新たに配置し、森林や所有者等の情報収集、森林所有者へ施業の勧誘を行います。また、同協議会では、同時に施業を受けてくれる自伐林家、

新見市自伐型林業支援事業



小規模な事業体等意欲ある担い手（これから林業を始める人を含む）を募集、登録しています。また、前に安全技術講習を行います。

森林所有者から施業の依頼を受けた場合は、登録した自伐林家等と森林所有者で施業の契約が締結され、作業を実施することとなります。

また、森林施業に必要な資機材を協議会が貸与することも可能となっています。

三 本年度の取り組み

5月から森林施業コーディネーター1名を雇用し、自伐林家等の登録者数は61名（8月末）となっています。7月27日には登録者を対象に森林施業の知識を深めることと、作業の安全性を高めることを目的に研修会が実施されました。

研修会では、近畿中国森林管理局森林技術・支援センター所長から林業労働災害を防止するため、作業着手の木材の需要動向や林業における労働災害の発生状況、安全な森林作業の実施に向けて講義を行った後、市内で実際に自伐林家をされている新見市長の山林で、作業道の設置状況や間伐作業の状

況について現地研修が実施されました。



現地研修

四 おわりに

この流れが定着することにより、林業従事者の確保・育成など小規模な森林であつても森林整備が推進され、自立した林業経営ができることが期待されます。更に、森林所有者への勧誘により森林に関心が高まり、新たな集約化も可能となります。今後は、この間伐等により生産された木材を有効に活用する仕組み作りについても期待されています。

（林業普及指導員 井上昌則）

特集
『ニューフェイスです』

真庭森林組合
市 大輝さん (28歳)



平成27年4月から真庭森林組合の直営作業班員として勤務されている市大輝さんにお話を伺いました。

一 経歴

岡山県真庭市(旧落合町)で生まれ育ち、自然への興味を持つようになりました。また、祖父(輝男氏)は山行苗の生産をしていました。

岡山理科大学専門学校のアクアリウム学科(海水と淡水の魚が一緒に生育できる「好適環境水」で有名ですね)で学んだ後、地元の実庭森林組合に職員として就職しました。

森林組合を選んだ理由は、機械の操縦が好きで、森林組合なら林業機械を操縦できるだろうと思っただけなのに、実際に働いてみると、測量やデスクワークなど

が主で、機械を操縦できる職場ではありませんでした。そこで昨年、思い切って直営作業班へ転勤しました。

二 現在の仕事内容

現在所属する真庭森林組合落合支所の作業班は4人1組で、50代の班長と50代、30代の班員、私という構成です。

主に伐倒搬出作業を行っており、チェーンソーで伐倒、ウインチで木寄せ、プロセッサで造材、グラップルで荷積み、フォワーダで運材というシステムです。各人がどの作業もこなし、効率よく素材生産を行っています。また、作業班に入ってから、「緑の雇用」制度を



「緑の雇用」で研修を受ける市氏(右)

活用し、各種技能の取得に努めています。

現在2年目の受講で不整地運搬車とシヨベルローダーの資格を取得しました。受講中の休憩時間には積極的に他事業体の方と情報交換を行っています。

三 仕事の感想

始めたころは筋肉痛などありましたが、筋力も付いてきたことから今ではそれほどしんどいとは感じません。何より好きな機械操作ができるのが楽しいです。

今は、効率の上がる方法を考えながら作業に取り組んでいます。

四 趣味

昔はヘラクレスオオカブトなど外国産のカブトムシやクワガタムシ、オオクワガタなどを200匹くらい飼育していました。

また、小学生の頃からグッピーなどの淡水熱帯魚を飼っており、現在では淡水と海水で1槽ずつ飼っています。海水水槽では「ファインディング・ニモ」で有名なクマノミやナンヨウハギ、タツノオトシゴなどを飼っています。



趣味のアクアリウム
(カラーでお見せできないのが残念!)

さらに、洋画の鑑賞も大好きで、新作・旧作を問わず映画館やDVDで観ています。最近、おもしろかったのはジェラルド・バトライ主演の「エンド・オブ・キングダム」です。

五 取材を終えて

取材日は真庭市美甘の現場からも関わらず、明るく、快く取材に応じて下さった市さん。今後益々のご活躍を期待しています。

(林業普及指導員 阿部剛俊)

特集

『教えて先輩!』

久米郡森林組合

小嶋 康彦さん (36歳)



今回、ご紹介する先輩は、久米郡森林組合(美咲町)にお勤めの小嶋康彦さんです。

一 経歴

広島県の大学を卒業後、同県の造船会社に就職しましたが、26歳の時に林業に関する仕事に就きたいと思い、林業労働力支援センターの紹介により、今の職場へ転職し、11年目を迎えました。

二 仕事内容

最初は、現業職として4年働き、30歳で事務職になって6年目となりました。

今の仕事は、森林施業プランナーとして山主さんへの施業提案や、合意形成、現場管理、測量を行い、

補助金申請等を行っています。

難しいところは、山主さんとの折衝で、作業道を開設するときは排水やルートについてしっかりと説明しなければいけないので、とても気を遣います。



仕事風景

三 後輩へ

現在の後輩職員は、事務に1人(31歳)、現業職5人でこの内3人が29歳、23歳、30歳のインターン者になります。

入ったばかりの新人には測量、伐採方法等基本的な仕事について私が指導を行っています。

林業は非常に厳しい仕事ですが現場で草を刈る、木を伐る、機械へ乗るばかりでなく、森林・樹木の

の特性などを勉強し、樹木の名前に興味をもったり、山の色々な表情を感じながら仕事をすれば凄く面白くなると思います。

施業提案し、施業後に山主さんから山が良くなったと言われた時が一番うれしいです。そしてこのことを後輩達にも同じように感じ取ってもらい楽しさを覚えてもらいたいです。

現場作業で特に覚えてほしいのは特殊伐採です。ロープワーク等を利用して家裏の支障木の伐採する等、新しい技術を学ぶことによって意欲を持つ事が出来ます。後輩達には、研修に進んで参加し技術を取得してほしいと思います。

なお、定着するためには、良い指導者がいることが一番だと思います。私が入ったときには良い先輩がいて、現場での技術指導以外にも地域を車で案内してもらい、生活面の面倒も見てくれたことがここで頑張る決め手となりました。

一方、私を含め県外から来る人は地域に溶け込む努力も必要です。

四 今後は

やりがいのある仕事として「共生の森」など環境学習があります。

中学生の職場体験や小学生に山に入る楽しさ等を知ってもらおう機会なので力を入れていきたいです。

また、一般の人に対しては森林組合の仕事を紹介したり、現場をバスで案内し、山が明るくなった山林の様子を見てもらうなど皆さんに知ってもらいたいと思います。



森林教育活動 (共生の森・柵原)

五 最後に

快く取材に応じていただきありがとうございます。地域に定着した先輩職員がいる事は非常に頼もしく思いました。小嶋さんの今後益々の御活躍を期待しています。

(林業普及指導員 長畑弘道)

林業研究グループ交換 研修大会が開催されました

一 はじめに

県下の林業研究グループの交流と情報交換を目的とした「交換研修大会」が7月7日に新見市で開催され、9グループ48名の参加がありました。

二 活動発表

グループの活動発表として、新見市新林業経営者クラブの福田さんから、次世代を担う青少年に林業に関心を持ってもらうため岡山大学農学部生23名を対象として実施した素材生産現場視察や林業機械の体験実習等の報告がありました。



研修大会の様子

次に、平成27年度に全国各地で開催された研修会に参加された3名が報告を行い、今後の林研グループ活動に生かせる多くの事例が紹介されました。

会場の後方には女性林研グループが山の幸を紹介したブースを設置し、各会から個々に説明を行いました。普段なにげなく見ている山の木々や草花も山の幸として活用できることを学びました。



にぎわう山の幸の紹介ブース

意見交換会では、各グループが近況報告を行い、林業のおかれた状況は厳しいながらもがんばっている等の意見をいただきました。

三 現地研修等

午後からは「これからの低コスト森林施業」と題して、近畿中国森林管理局森林技術・支援センター

の細川所長からスギやヒノキなどの針葉樹だけでなく広葉樹の需要が市場にあることや、コンテナ苗は普通苗より活着は良いが成長はあまり変わらないなどの話をいただきました。

現地視察では、広島県との県境にある(株)津山総合木材市場新見支店で、市場が必要としている材について説明がありました。その後、健康の森学園の一角において、ポータブルウインチを用いた集材について研修を行いました。



ポータブルウインチを用いた集材

四 おわりに

年に一度の開催をたくさんの方が楽しみにされており、事務局では、みなさんの期待に添える企画にしたいと考えておりますので今後ともよろしく願います。

おかやま森の大使が 決定しました

8月29日にピュアリティまきび(岡山市北区下石井)において、「おかやま森の大使」の面接選考を行い、9名の応募者の中から2名の大使が決定しました。



(写真右) 桑原 菜子さん 大学生
(写真左) 坂井 裕梨さん 大学生

任期は平成28年10月1日～平成30年9月30日までです。

皆様よろしく願います。
(岡山県林業改良普及協会事務局)

研究だより

『木質バイオマス燃料の水分管理』

天気が気になると、以前は、テレビや新聞の天気予報を確認したり、現場の空模様を観察するなどしていましたが、最近では、スマートフォンなどの普及により、即時に詳細な情報を得ることができ、突然の気象変化に対しても確実な対応が可能になってきました。

多くの情報が、場所を問わずに得られるようになり、また、バイオマス技術の発達による高度な疑似体験など、様々なことができるようになりましたが、身近にあるものとして、ヒグラシの声に過ぎる1日を惜しみ、たわわな稲穂に秋の風情を感じるような事も大切にしたいものです。このような感覚は、豊かな田園と山林を育んでいる地域であればこそ体験できるものではないでしょうか。

さて、便利な電子機器ですが、電気がなければ使うことができません。現代社会は、電気が当たり前に使えることで社会システムが機能しているといえるかもしれません。これは化石資源の乏しい国

にとつては大きな課題です。

これらのことを背景に、再生可能エネルギーの利用が進められ、中でも国内には豊富にある木質バイオマスが注目されています。県内では、昨年度から真庭地域において木質バイオマス発電所が稼働していますが、早くからの準備が功を奏し、順調な運転を続けているようです。

発電事業においては、大量の燃料を必要とすることから、燃料の安定的な確保とその含水率の管理が重要な課題です。特に、含水率の管理については、ボイラーの燃焼効率が向上し、使用燃料を減らすことができる等多くの利点があります。

そこで、当研究所では、平成23年度から木質バイオマス燃料の水分管理に関する研究に取り組んできました。初期の取組については、本誌432号「ヒノキ丸太の天然乾燥」により報告しましたが、ここでは、冬期における乾燥が課題でありました。

今回は、半割などの丸太の加工処理が、その後の乾燥経過（含水率変化）に与える影響について調査を行ったので報告します。

試験は、スギ・ヒノキの末口径12cm程度、長さ3mの丸太材について、剥皮・半割後にローラープレスを用いた加圧処理を行い、無

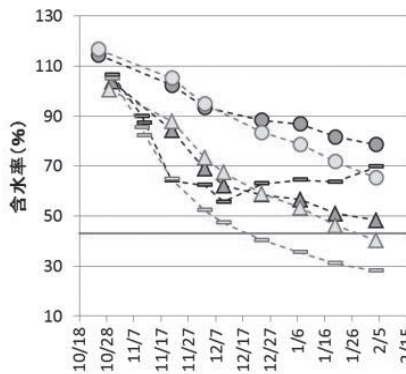


図2 スギの各処理条件別の含水率(乾量基準)経時変化

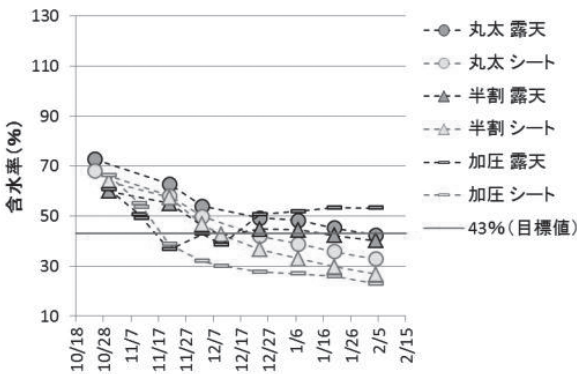


図1 ヒノキの各処理条件別の含水率(乾量基準)経時変化

処理(剥皮丸太)及び半割処理との比較調査を行いました。なお、試験材の加圧処理については(株)鈴工が製造したローラープレス装置により行いました。また、乾燥は冬期に開始し、シートによる被覆の効果を併せて調査しました。結果を図1と図2に示します。

スギとヒノキを比較した場合、ヒノキは全体的に乾いており、冬期における乾燥でも剥皮とシートの使用(雨対策)により目標とする含水率43%(湿量基準で30%)よりも乾燥していました(図1)。一方、スギは、シート有りの加圧処理は良好な乾燥経過でしたが、露天に設置した場合は、12月頃から乾燥が進まず、調査終了時の含水率は約70%であり、剥皮丸太が到達した含水率と同程度でありました(図2)。

これらのことから、半割処理や加圧処理が、含水率の低減を促進させる方法として有効であることが分かりました。しかし一方では、含水率低減効果を高めると吸水性も高まるため、シートや屋根等による対策を要することが示唆されました。

(森林研究所専門研究員 小川 裕)

▼林務の職場▲

『備前県民局森林企画課・ 森林整備課』

一 はじめに

備前県民局は岡山市、玉野市、瀬戸内市及び吉備中央町を管轄しています。管内の林野率は約50%と県平均より18ポイント低く、また林野の8割が天然林となっています。森林・林業の関係では、森林企画課、森林整備課が連携して森林の多様な働きを守る業務を行っています。

二 取組状況

それぞれの課・班の取り組みを紹介します。

森林企画課林業振興班では、林業技術普及を主な業務としています。とりわけ管内が木材の大消費地であることから、県産材の需要拡大を重点課題として業務に取り組んでいます。特に、幼い時から木と触れあう機会をつくるため、小学校や公民館で木育教室を開催しており、参加者から「木の匂いがよい。林業や森林の大切さがわかった。」など好評を得ています。

森林企画課森林保全班では、生活環境を守っている森林が無秩序に開発されることがないように保安林、林地開発などの許認可業務を行っています。また、鳥獣保護管理、自然公園保護利用管理などの業務も行っています。

森林整備課では、東備地域も含めて山地災害の復旧や予防を行う治山業務や森林整備のための林道業務を行っています。現在は、玉野市石島の林野火災跡地の早期復旧を進めています。

三 スタッフ紹介

森林企画課では、課長、林業振興班、森林保全班計10名の職員が勤務し、森林整備課では、課長、職員4名が勤務しています。

最後に、造林や間伐の技術指導や木工教室や森林教室なども行っていますので、ご要望がありましたら、林業振興班にお問い合わせください。

TEL086-2333-9833

(森林企画課 築山良昭)

『津山市産業経済部森林課』

一 はじめに

津山市は、岡山県北東部に位置し、総面積の7割を占める森林のうち、61%がスギやヒノキの人工林となっています。中でもヒノキの植栽率は高く、「美作檜」としてブランド化されています。

しかしながら、山間地域の過疎化、高齢化の進行や、林業及び木材関連産業の低迷により、森林が放置され、荒廃が進んでいます。

このような状況を打開し、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるために、「津山市森づくり条例」に基づいて、「津山市森づくり基本計画」の前期実行計画を策定し、長期展望に立った森づくりや林業を担う人材育成の推進などに取組んでいます。

二 取組状況

森林課では、森林関係業務のすべてを担当しています。一部の業務は各支所に対応していますが、総括は森林課が担当しています。

主な業務は、人工林の間伐の推進などの「森林の持つ多面的機能の持続的発揮、長期展望に立った

森づくり」、美作材の利用の推進などの「林業・木材関連産業発展と木材の循環利用の促進」、生活環境の整備などの「地域の暮らしと一体となった森づくり」等となります。

具体的には、地域材を利用する住宅への各種助成を行う「地域材利用促進事業」、美作材輸出戦略プランに基づき支援する「美作材輸出促進事業」、有害鳥獣被害から農林作物を護る「有害鳥獣駆除・防除事業」、基幹林道・小規模林道の開設、林道橋の補修、林道の維持管理などの「各種ハード事業」、地域住民・団体による里山整備などへ支援する「生活・里山・森づくりアダプト事業」等に取り組んでいます。

三 スタッフ紹介

森林課は、岸本課長、甲本主幹、庄司主査(技)(森林・林道整備等)、尾島主任(鳥獣害対策)、松尾臨時職員(産休代員)(住宅補助等)、米戸嘱託員(森林組合関係)の計6名のスタッフで業務を進めています。

(津山市森林課課長 岸本昌義)

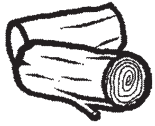
技能講習会の開催(10~12月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名称	会場	日程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	11月17, 18日	(社) 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け	岡山	10月6, 7日・11月5, 6日 11月10, 11日・12月1, 2日	
	和気	10月3, 4日	
	玉野	10月17, 18日	
	新見	11月7, 8日	
刈払機作業従事者	津山	10月4日	
移動式クレーン運転士		11月4日	中国四国安全衛生技術センター TEL (084) 954-4661
はい作業主任者	倉敷	11月30日と12月1日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 234-1332

森林・林業関係イベント参加募集

開催日時	場所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
10. 2 (日)	さんさん広場 (吉備高原都市)	岡山県みどりの大会 2016	岡山県自然環境課自然公園班 TEL (086) 226-7312 申込不要
10. 2 (日) 10:00~15:00	荒戸山 (新見市哲多町)	第6回自然観察会	岡山県森林インストラクター会 TEL (086) 806-2992
10. 8 (土) 10:00~	県農林水産総合センター (赤磐市神田沖)	農林水産総合センターフェア (木工教室、農作物の販売等)	県農林水産総合センター TEL (086) 955-0273
10. 22 (土) 10:00~	木戸・塩田地区有林 (総社市下倉)	ヒノキ人工林の除伐・枝打ち シイタケ原木の伐採ほか	倉敷地域森づくりの会 TEL (0866) 92-5600
10. 22 (土) 10:00~	グリーンヒルズ津山 (津山市大田地内)	第17回森林を考える岡山県民のつどい	森林を考える岡山県民のつどい 実行委員会 津山市議会事務局 TEL (0868) 32-2140
10. 29 (土)	おかやま共生の森・柵原 (美咲町書副地内)	保育のつどい (広葉樹林整備、森林レクリエーション、木工体験等)	久米郡森林組合 TEL (0868) 66-0053
10. 30 (日) 9:30~11:00	早島ふれあいの森公園 (都窪郡早島町矢尾)	木の実の観察、ドングリ・松ぼっくり等を使用した工作等	早島さくら千年委員会 TEL (090) 7135-7272
11. 20 (日) 9:00~15:00	高梁美しい森 (高梁市松山)	人工林整備 (間伐・搬出)	NPO 法人フォレストピープル岡山 TEL (0866) 22-1000
11. 27 (日) 9:00~15:00	高梁美しい森 (高梁市松山)	森林環境教育 (フォレストジャンボリー)	NPO 法人フォレストピープル岡山 TEL (0866) 22-1000
11. 27 (日)	新庄村	初めてのグリーンウッド体験 (ミニクリスマスツリーづくり)	新庄村役場総務企画課 TEL (0867) 56-2628 担当: 辻
12. 10 (土) 10:00~	酒津財産区有林 (倉敷市酒津)	植樹	倉敷地域森づくりの会 TEL (0866) 92-5600



林産物市況



木 材 (8月26日)

出荷材積 約1,900 m³

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直 材	小曲り	樹種	長さ	径 級	直 材	小曲り	杉概況
杉	3m	14~16	10	6	檜	3m	14~16	20.5	16	柱材 横這い
		18~20	10	9			18~20	17	15.5	中目材 横這い
		22~28	12	10			22上	17	15.5	元木 横這い
	4m	18~22	10	8~		4m	14~18	18.5	9~	檜概況 【3m】 【4m】
		24~28	10	8~			20~22	16	14	柱材 弱含み 横這い
		16~18	15	10			24~28	16.5	14	中目材 弱含み 横這い
松	3m	18~22	10	8	6m	14~16	23	8~	元木 横這い 横這い	
	4m	18~22	10	10		18~20	28	8~	桧6mは16cm以上の元太りの木での出荷をお願いします。	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (8月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値~高値	備考
スギ	正角3m 10.5cm角	特等	K	50,000(直送)~55,000(市場)	
	正角3m 12cm角	特等	K	50,000(直送)~55,000(市場)	
ヒノキ	正角3m 10.5cm角	特等	K	58,000(背割有)~62,000(背割無)	
	正角3m 12cm角	特等	K	55,000(背割有・無)~60,000	
マツ	平角4m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	75,000	
米マツ	正角3m、4m 10.5cm角	特等	G	52,000~54,000	
	平角3m、4m 10.5×15~21cm	特等	G	54,000~	
北洋アカマツ	タルキ4m 3.8cm角	特等	K	70,000~75,000	
ホワイトウッド	間柱3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	55,000~	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

皆伐・再造林促進支援事業のご案内

岡山県森林組合連合会



「伐って・使って・植えて・育てる」

～林業経営を応援します～



再造林費については ha 当り上限 10 万円、下刈り費は上限 5 万円を 5 年間助成します。

詳細につきましては、当連合会各支所又は最寄りの森林組合へご相談ください。

(※森林組合の連絡先等は岡山県森林ホームページにあります。)




緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

安心と信頼の証を届けます



創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場

OHKUBO 大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0460
 ■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153
 ■東京営業所 〒201-0003 東京都江崎市和泉本町1-21-1(201) TEL (03) 5761-9577 FAX (03) 5761-9587

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕

「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
 間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>
 津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
 岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000



CT-500B GP-532 小型ハイパワープロセッサ
IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.



YAMABIKO
 shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社
 津山市一方 194 〒708-0883 TEL (0868) 23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕 バークガード 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット
 〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
 〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤
 (お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
 TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
 TEL：06-6231-2819

平成二十八年九月一日（第四四九号）
（隔月一日発行）

編集 発行
〒700-8750 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区内山下二一四一六

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社
〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間
春のみどりの月間 4月1日～5月31日
秋のみどりの月間 10月1日～10月31日


口座振込はこちらへ
 ゆうちょ銀行 01270-0-5225
 中国銀行岡山駅前支店 1852041
 トマト銀行岡山駅前支店 1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086)221-9511

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金ができるのは？
 火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。
 岡山県では過去5年間で約6千万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年 保険期間…5年 保険金額…最大188万円 一括払いだと 21,225 円（5年間計）	樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年 保険期間…5年 保険金額…最大299万円 一括払いだと 37,375 円（5年間計）
--	---

1ヶ月あたり 約350円 → わずかおむすび 3個分

1ヶ月あたり 約620円 → わずかラーメン 1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
 ○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。